

授業科目 医療福祉サービス評価法Ⅰ

【担当教員名】 一戸 真子	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

ヘルスケアサービスは原則として利用者中心に提供されるべきであるということと言うまでもない。同時に、ヘルスケアサービス提供者が安心して安全に働ける職場環境も重要な視点である。本講義ではヘルスケアサービスの質について検討し、さらに質を高めるための評価にはどのような視点が必要であるかについて理解することを目的とする。具体的には1)「評価すること」、「第三者」の意義を理解する、2)「質」を測定することの意義を理解する、3)利用者中心のヘルスケアサービスはどうあるべきかについて検討する。以上のことを踏まえ、1では「医療サービス評価法」について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 医療サービスの質について理解する。
2. 医療サービス評価方法について理解する。
3. 医療サービス評価尺度について検討する。
4. 医療安全の視点について理解する。
5. 利用者参加の医療の重要性について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	医療の質評価の歴史	1	講義とディスカッション
2	日本における医療の質評価への取り組みの経緯	1	講義とディスカッション
3	日本医療機能評価機構：病院評価	2	講義とディスカッション
4	書面審査／訪問審査	2	講義とディスカッション
5	ストラクチャー→プロセス→アウトカム評価	3	講義とディスカッション
6	クリニカル・インディケ이터／患者適応型パス	3	講義とディスカッション
7	統合版評価項目 (Ver. 5.0)	3	講義とディスカッション
8	精神科病床を有する場合／療養病床を有する場合	3	講義とディスカッション
9	モジュール評価 (救急・リハビリテーション・緩和ケア)	3	講義とディスカッション
10	アメリカ JCAHO／イギリス HQS	5	講義とディスカッション
11	イギリス HQS／オーストラリア ACHS	5	講義とディスカッション
12	国際評価団体 ISQua / JCI / WHO	1	講義とディスカッション
13	患者満足度／患者参加の医療評価	5	講義とディスカッション
14	医療安全／リスクマネジメント	4	講義とディスカッション
15	日科技連：医療の質奨励賞	2	講義とディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	必要に応じて授業内に配布する。			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
①出席、②授業内レポートや積極的な参加度、 ③試験成績の総合的評価	本科目に関する内容は現在動きの激しい分野であるので、政策や医療・福祉をめぐる社会動向を把握するように心がけること。			